令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	治水対策事業の推進	担当課名	建設水道課
		担当係名	関連調整係
（予算書コード）	08-03-01-10-01		
事業区分	単年度予算 ／ 運営方法 ／ その他		
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 （事業に始期又は終期がある場合に記入）		
根拠法令等の名称	諏訪圏域河川整備計画他		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	町民の生命財産を守るため災害に強いまちづくりを目指し、県と連携し「諏訪圏域河川整備計画」に基づく治水対策を推進するとともに、高木地区に砂防堰堤を整備し土石流の抑止及び渓流浸食の防止を図る。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	県の予算額に対する実績	実施額／予算額	千円	目　標	399,000	186,000	237,000
				実　績	490,000	180,104	418,556
				達成率	122.8%	96.8%	176.6%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算	令和7年度決算	令和8年度予算
事業費	事業費 A		30 千円	29 千円	67 千円
	うち 会計年度任用職員人件費		人 千円	人 千円	人 千円
	正規職員人件費 B		0.80 人 5,550 千円	0.40 人 2,918 千円	0.50 人 3,753 千円
事業費合計 C（A＋B）			5,580 千円	2,947 千円	3,820 千円
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円
		町の借入	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円
	一般財源（町の負担）		5,580 千円	2,947 千円	3,820 千円
受益者負担率（D／C）			0 %	0 %	0 %

【事業の評価】

区分		評価		説明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	町民の生命財産を守るのは町の責務であり、管理者である県と協力して河川整備等を適切に進めていく必要がある。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	受益者は町民全体である。また、主たる事業者は県であることから、町の負担額は僅かである。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	事業規模と比較して、町の負担額が極端に少なく効率的である。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	A	目標値以上である	大沢川砂防堰堤工事が令和8年度中に完成する予定となっている。

総合評価	現状維持	町民の安全安心のための事業であり、各種事業の早期完成が望まれる。町では県に対し、速やかに整備いただくよう治水対策事業の推進を県に要望していく。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	現状維持	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	国道20号バイパスの建設促進			担当課名	建設水道課
				担当係名	関連調整係
（予算書コード）	08-04-04-10-01				
事業区分	単年度予算	運営方法	その他		
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 （事業に始期又は終期がある場合に記入）				
根拠法令等の名称					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	諏訪広域及び近隣圏域の発展、快適な生活環境づくりの推進、交通安全・交通渋滞、災害時の緊急輸送路の確保、地域発展・観光産業の活性化等のため、国道20号バイパスの建設促進・現道改修を図る。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	バイパス事業化延長に対する工事完成延長	工事完成延長／事業化区間延長	km	目　標	7.3	7.3	7.3
				実　績	0.0	0.0	0.0
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算			令和7年度決算			令和8年度予算		
事業費	事　業　費　A			582 千円			2,119 千円			14,972 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費			人	千円		人	千円		人	千円
	正規職員人件費　B		1.20 人	8,325 千円		1.20 人	8,754 千円		2.00 人	15,012 千円	
事業費合計　C（A＋B）				8,907 千円			10,873 千円			29,984 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担			千円			千円		6,111 千円	
		県の負担			千円			千円		3,055 千円	
		町の借入			千円			千円			千円
		その他			千円			千円		479 千円	
		うち 使用料・手数料　D			千円			千円			千円
	一般財源（町の負担）			8,907 千円			10,873 千円			20,339 千円	
受益者負担率（D／C）				0 %			0 %			0 %	

【事業の評価】

区　分		評　価		説　明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	国・県・住民との合意形成により進める事業であり、町が関係機関、住民と十分な調整を行い事業を進める必要がある。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	町民のみならず、全ての道路利用者に受益がある。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	地元住民の意向を適切に関係機関へ伝え、効果的な事業推進が図られている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	C	目標値以下である	下諏訪岡谷バイパス第1工区では着実に工事を進めていただいている。諏訪バイパスは継続して地質調査及び道路設計等を行っており、調査等を踏まえ今後詳細な道路設計に移っていく。

総合評価	拡　充	下諏訪岡谷バイパス第1工区は、福沢川及び砥川渡河部の整備が計画通り進められている。諏訪バイパスは一部調査中区間があることから建設促進期成同盟会とともに早期全線事業化及び早期完成に向けた活動を継続して行っていく必要がある。また令和7年度より地籍調査業務を実施しており、今後予定される用地測量等に係る期間短縮を図る。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	拡　充	

令和7年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	都市計画道路赤砂東山田線の整備	担当課名	建設水道課
		担当係名	関連調整係
（予算書コード）	08-04-06-10-01		
事業区分	単年度予算 ／ 運営方法 ／ その他		
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 （事業に始期又は終期がある場合に記入）		
根拠法令等の名称	都市計画法、都市計画法施行令		

【事業の概要及び分析】

事業の目的 （誰に対して） （何のために） （何を行うか）	町民のための安全で快適な交通環境を確保するため、一般国道20号下諏訪岡谷バイパスと町の市街地を結ぶ、下諏訪都市計画道路3・4・12号「赤砂東山田線」の整備に向け、長野県や地権者との調整や事務手続きを進める。						
事業の活動成果 （事業の実施によりどのような状態にしたいか）	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地元負担金累計額	県事業の実施にあたり、町で街路区間整備に対して支出する負担金の総額に対する累計負担金額	千円	目　標	120,000	120,000	120,000
				実　績	11,592	53,592	100,946
				達成率	9.7%	44.7%	84.1%

【投入されたコスト・業務量】

			令和6年度決算			令和7年度決算			令和8年度予算		
事業費	事業費 A			42,062 千円			65,341 千円			78,683 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費			人	千円		人	千円		人	千円
	正規職員人件費 B		1.00 人	6,938	千円	1.20 人	8,754	千円	1.50 人	11,259	千円
事業費合計 C（A＋B）				49,000	千円		74,095	千円		89,942	千円
財源内訳	特定財源	国の負担			千円			千円			千円
		県の負担			千円			千円			千円
		町の借入			千円			千円		63,000	千円
		その他		30,000	千円		7,293	千円		15,651	千円
		うち 使用料・手数料 D			千円			千円			千円
	一般財源（町の負担）			19,000	千円		66,802	千円		11,291	千円
受益者負担率（D／C）				0	%		0	%		0	%

【事業の評価】

区分		評価		説明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B	町以外では行えない	本事業は県が事業者であるが、各種手続きや地権者との交渉において町の果たす役割が大きく、県と協力して進める必要がある。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A	適切である	市街地における通過交通の排除と円滑な交通確保のため必要な路線であり、町民のみならず、全ての道路利用者に受益がある。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A	適切である	最小限の職員で業務を行っている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか （下回っている場合は、その理由）	B	目標値どおりである	県による工事設計や物件調査、用地買収等が計画通り進められている。

総合評価	拡　充	令和8年度から道路築造工事及び施工ヤード盛土工に着手する。国道20号下諏訪岡谷バイパスとの早期同時供用を目指し、急いで整備を進めていく必要がある。
前年度の総合評価 （評価が変わった場合はその理由）	拡　充	